

平成 30 年度 第 68 回東海学生テニス選手権大会

規約・予選注意事項

1. 試合時刻は、日程表に指定してあるので、出場者は必ず定刻 10 分前までに服を着替えて、本部にコールを取りに行くこと。
2. 試合は原則としてセルフジャッジで行う。但し、相互手配も認める。（‘15 年度版 JTA テニスルールブック P54～56）
3. ウォーミングアップはサービスのみとする。
4. ボールは敗者ボールとする。勝者は試合終了後スコアをただちに本部まで届け出ること。
5. 試合形式は 8 ゲームプロセットマッチ、8 ゲームオール後タイブレークとする。
6. 雨天の際の処置
 - ①朝から雨が降っている場合
 - ・中止等の連絡はすべてホームページに掲載し、東海学生テニス連盟主将主務ラインにも流す。何も書かれていない場合は、必ず会場に行き、コールを取ること。来なかった場合は棄権とする。
 - ・電話による問い合わせには一切応じない。
 - ・雨天延期の場合、日程及び会場が変更になることがあるので、ホームページをこまめに見ること。
 - ②試合途中で雨が降ってきた場合
 - ・ロービングアンパイアの指示に従うこと。
 - ・試合をしている両選手の同意があれば試合を中断してもよい。
 - ・中止が決定された場合、途中試合のものも含めて後日試合を行うので、ロービングアンパイアが指示するまで待機すること。
7. 日没に関する処置
 - ①日没試合は原則として次のラウンドが行われる日の会場で、30 分前コールで行う。
 - ②他の注意事項はすべて雨天の際の処置に準ずる。
8. ウォークオーバーについて
 - ① ロービングアンパイアに定刻 10 分前までにコールを取らなかった場合
 - ・時間はロービングアンパイアの時計を絶対のものとする。
 - ・ダブルスの場合は二人揃わなければコールを認めない。
 - ・更衣、あるいはウェアを持参してコールを取ること。
 - ② 公共交通機関の遅延、ストライキにより遅れた場合は、遅延証明の提出によりコールの受付を認める。

9. 棄権・リタイヤ

自然的体力消耗による試合の中断は一切認めない。この場合、プレイヤーはいかなる手当も他から受けてはいけない。これに違反した場合、失格となる。

尚、偶発的事故によるけがのために試合を続行できなくなった場合は、当該選手について1回だけ3分以内の治療時間を認める。治療はコートで行うものとし、コート内には出場資格を有する者のみ入ることができ、医師等は入れない。試合開始後、許可なしにコートを離れてはならない。これに違反した場合、失格となることがある。

また、ロービングアンパイアがコールをして5分以内にコートに入らない場合は棄権とする。

再三の注意にも拘らず学生プレイヤーらしからぬ態度をとった場合、レフェリーはこれを棄権とする。

10. 試合中、プレイヤーはいかなる指導や助言も受けてはならない。

11. 本大会はポイントペナルティー制度を採用する。試合中に理由のない遅延をしたり、スポーツマンシップに反する行為をとった場合、主審またはレフェリーが警告及び失点、失格をとることがある。

12. その他の細かいルールは『15年度版 JTA テニスルールブック』に準ずる。